

平成 31 年 3 月 30 日

於：リーガロイヤルホテル大阪(3F 光琳の間)

春季大祭 成井理事長挨拶

春季大祭、誠におめでとうございます。

うらかな春の光のもと、桜の花が<sup>かわも</sup>川面に揺れる美しい季節となりました。

本日は、午前午後合わせて約 4,500 名の皆様とご一緒に、メシヤの御名にある大祭を執り行わせていただけますこと、主神と、主神と共におられる明主様に、<sup>ちゅうしん</sup>衷心より感謝申し上げたいと存じます。

本日の祭典には、教主様にご出座くださっています。

教主様には、私ども世界中の信徒を、<sup>まこと</sup>真の明主様の救いの道へとお導きくださっておりますこと、誠にありがたいことと心より御礼申し上げます。

また、本日は、教主夫人であります岡田まゆみ様と、教主補佐・岡田真明様にご臨席いただいておりますので、ここでご紹介させていただきます。

まゆみ奥様、真明様、恐れ入ります、どうぞお立ちくださいませ。

ありがとうございました。

後ほど、真明様にはご挨拶をいただきます。よろしく願い申し上げます。

そして、本日は、南米のボリビアからジョルジェ・ウエマ教会長がご参拝になっております。ここでご紹介させていただきます。

ウエマ先生、どうぞお立ちください。盛大な拍手でお迎えさせていただきます。

ありがとうございます。

ボリビア教会は、今年 2 月、理事会の全会一致の意思として、教主様と一つ心に歩むという力強い声明文を世界に向けて発信されました。

中南米におきましては、昨年 10 月、教主様中心のブラジル「世界メシア教」が発足しましたが、前後して、メキシコ教会理事会でも教主様と共に歩む決議がなされ、さらに、コロンビア教会でも、すべての信徒が同様に決意を表明されました。

また、ペルーでは、信徒が中心となり、「世界メシア教」名の教会を立ち上げられたと伺っています。

そうした中であって、今年7月には、教主様がブラジルへご巡教になります。

私どもは、教主様のご教導により、メシヤの御名の真実に目覚められた海外信徒の皆様とも心を合わせ、主神が明主様を通してお示しくださっている<sup>まこと</sup>真の信仰へと、夢と希望をもって前進してまいりたいと存じます。

さて、先般の豊穰祈願祭の折にお伝えしましたように、世界救世教主之光教団は、3年に1度の役員改選を終え、「代表役員認証式」において“教主様のご認証”を賜り新しい執行部が発足し、心新たに新年度からのご神業奉仕に臨ませていただくこととなりました。

また、同時に、白澤代表をはじめとするいづのめ教区におかれましても、「どこまでも教主様と一つ心に」という合言葉をもって歩まれる全国の信徒の皆様のご支援のもと、昨年5月の発足以来さまざまな体制が整えられ、新年度のご神業奉仕に向かわれることとなります。

今月13日には、主之光教団総本部ご神前において、教主様のご出座を仰ぎ、主之光教団の新執行部といづのめ教区の推進委員の皆様と共に、「新体制発足『奉告参拝』」を執り行わせていただきました。

そして、教主様のもと、主之光教団といづのめ教区が、より一層強固な連携・協働体制をもって新たな出発をさせていただきました。

私は、このたびの新体制の発足にあたり、自らの心の中心に深く刻<sup>きざ</sup>ませていただいたことがございます。

教主様は、「代表役員認証式」の折、次のようにお言葉をくださいました。

私どもは、自分たちの進むべき方向と方針を定め、状況を判断し、話し合いを行いながら、物事を決定し、それを実行に移しておりますが、教団という組織の中で、教主の認証が必要であると定められているということは、こうした様々な判断や決定を人間だけの判断や決定で終わらせるのではなく、自分たちで判断し、決定したことを、明主様にご奉告し、明主様のみ心をお受けしようとするのが、いかに大切なことであることを示していると思います。

主神は、ご自身の創造のみ旨を成し遂げるために、私どもの思いをお使い

になって、常に働きかけ、私どもと交流なさろうと努力してくださっていると思います。

そのために、主神は、私どもが明主様を通して主神にご奉告することを赦してくださっていると思います。

この大きな愛にお応えし、私は、どんな些細なことの中にも、主神の赦しと養いがあることを認めて、感謝し、何事も明主様と共にあるメシヤの御名にあって、主神にご奉告し、主神に心に向けさせていただくことが大切な御用であると感じております。

教主様は、このようにご教導くださいました。

私は、“教主様のご認証”という行為が、いかに神聖な行為であり、なおかつ重要な行為であるのかを、改めて自らの心の中心に銘記させていただきました。

神様が、私どもを子供とするために交流してくださっていること、私どもに神様へのご奉告を赦してくださっていること、そして、私どもが神様のみ旨をお受けできるようにしてくださっていること、などについて、大いなる目覚めをいただくことができました。

私は、“教主様のご認証”を通して、こうした<sup>まこと</sup>真に尊い神様の赦しをお受けして、はじめてお使いいただいているものであることを決して忘れないように、新たな任期を務めさせていただくことをお誓い申し上げます。

私どもは、自らが、主神の新しい段階の創造のみ業に気づかせていただいたものではありません。

神様の計り知れないほどの大きな赦しのもとに置いていただき、明主様と共にあるメシヤの御名にあって、そして、教主様を通して、はじめて神様の<sup>まこと</sup>真に尊い親心とも言える本当のみ旨を知ることができたものであります。

このことを通して、私は、自らが赦されなければならなかった存在であったことを、深く肝に銘じておかなければと思わせていただきました。

そして、自らのうちに、メシヤの御名にある神様の赦しをお受けしていることが、本当はどれだけ大きなことであるのか、たとえその一端にでも気づかせていただけるものでありたいと心から思わせていただきました。

また、同時に、私は、このように思わせていただけることにつきましても、神様が、人間本位に生きてきた私自身のうちに、メシヤの御名にある愛と赦しに気づくことの

できる新しい心を置いてくださっているからこそ、だからこそ、気づくことができたのだと受け止めさせていただいております。

ですから、私は、教主様に、そして、教主様を通して明主様にお仕えさせていただく新しい執行部の方々に対しましても、私と共に、新しい出発に際して教主様より賜りましたお言葉を真<sup>しん</sup>に受け止めて、新たな任期に臨んでくださいますようお願いさせていただきました。

世界救世教主之光教団は、主神が明主様を通してお示<sup>まこと</sup>くださっている真の信仰をお受けするために、教主様のご教導を唯一絶対無二のよりどころとし、全人類に対する新しい段階の救いの御用に、ひたむきに喜々としてお仕えさせていただく宗団であります。

来月には、「教主様アメリカご巡教」が実現いたします。

明主様は、昭和 28 年(1953 年)に、「アメリカを救う」という御論文をご発表になりました。

私は、教主様によって明主様の真<sup>まこと</sup>の救いの扉が大きく開かれた今、「アメリカご巡教」が実現することとなり、「世界信徒大会」が開催されますことは、たいへん大きな慶事であり、極めて意義深きことと拝察申し上げます。

私は、主之光教団の皆様をはじめ、白澤代表を中心とするいづのめ教区の皆様と共に、そして、東方之光教区の皆様と共に、さらには、いづのめ教区につながる、ブラジル「世界メシア教」をはじめとする世界中の皆様と共に、主神が明主様と共にお進めになる真<sup>まこと</sup>の信仰の道を、大いなる希望<sup>いだ</sup>を抱き歩ませさせていただきたいと存じます。

本日は、この後「神さまの子どもとなるために～神様をお讃えするメサイア ハレルヤコーラス～」と題するビデオ上映に続いて、教主補佐・岡田真明様よりご挨拶をいただきます。

そして、教主様のお言葉を賜ります。

皆様、どこまでも教主様と一つ心に、真<sup>しん</sup>に新しい出発をさせていただきます。教主様のお出ましの前に大切な時間を賜りましたことに感謝申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以 上